

建築専門問題

令和8年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は、【I】、【II】の2題あります。そのうち1題を選択して解答してください。
3. 【I】、【II】は、それぞれ、小問1～3に分かれています。選択した【I】あるいは【II】の小問1～3の全てに答えてください。小問1は、【I】と【II】で別々で、小問2と小問3は、【I】と【II】で同一です。
4. 問題のページは、次のとおりです。

項目	小問1	小問2	小問3
【I】	1ページ	3ページ	4ページ
【II】	2ページ		
摘要	小問1は、【I】と【II】で別々です。	小問2は、【I】と【II】で同一です。	小問3は、【I】と【II】で同一です。

5. 解答時間は2時間30分です。
6. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された注意をよく読んでください。
7. この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。
8. 係員による試験開始の指示の後、乱丁・落丁等がないことを確認した上で、解答を始めてください。

【Ⅰ】－小問1

このページは【Ⅰ】－小問1の問題です。この問題と
次のページの【Ⅱ】－小問1のうち片方を選択して解答してください。

都市計画、建築計画又は建築環境工学に関する次の問いに答えよ。

- (1) 都市施設について説明した上で、都市施設の種類を五つ挙げよ。
- (2) ル・コルビュジエが提案した「近代建築の5原則」を挙げよ。
- (3) 建築物における内部結露について、防止対策にも言及して説明せよ。

【Ⅱ】－小問 1

このページは【Ⅱ】－小問 1 の問題です。この問題と
前のページの【Ⅰ】－小問 1 のうち片方を選択して解答してください。

建築法規又は建築施工に関する次の問いに答えよ。

- (1) 建築基準法に基づく天空率について、計算式にも言及して説明せよ。
- (2) 次の語句について説明せよ。
 - (ア) 鉄筋コンクリートの中性化
 - (イ) 仮設工事のベンチマーク

【Ⅰ】－小問2

【Ⅱ】－小問2

小問2は、【Ⅰ】と【Ⅱ】で同一で、必須解答です。

建築構造又は構造力学に関する次の問いに答えよ。

- (1) 鋼構造の長所と短所について説明せよ。
- (2) 図1のようなラーメンに作用する水平荷重 P を増大させ、ラーメンが図2のような崩壊機構を示したとき、ラーメンの崩壊荷重 P_u の値を求めよ。ただし、柱、^{はり}梁の全塑性モーメントの値は、それぞれ $400\text{kN}\cdot\text{m}$ 、 $200\text{kN}\cdot\text{m}$ とし、計算の過程も示すこと。

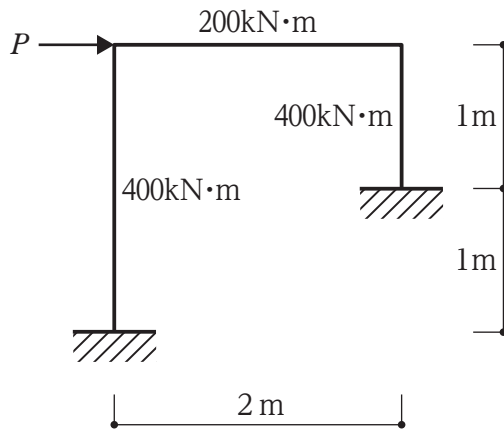


図1

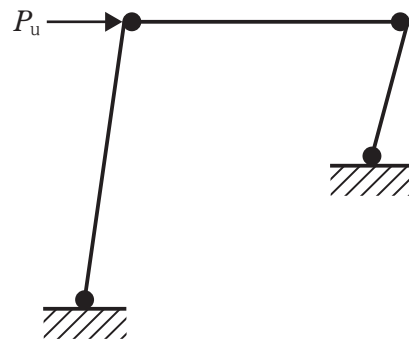


図2

【Ⅰ】－小問3

【Ⅱ】－小問3

小問3は、【Ⅰ】と【Ⅱ】で同一で、必須解答です。

国内では土砂災害をもたらす線状降水帯等が毎年のように発生し、東京でも浸水被害にたびたび見舞われている。また、都の被害想定では、首都直下地震により甚大な被害が生じることが示されている。ひとたび大きな災害が起こった際には、避難生活が長期に及ぶおそれもある。このような状況を踏まえ、次の問いに答えよ。

- (1) 不燃領域率について説明せよ。
- (2) 気候変動により激甚化する風水害や、いつ起きてもおかしくない首都直下地震に対して、強靱で持続可能な都市を実現するため、今後、都はどのように取り組んでいくべきか、建築技術者の視点から、あなたの考えを論じよ。

((2)は800字以上1,200字程度)